



“山形を繋ぐ”

チームウェアを通して山形を発信

この度モンテディオ山形は、2023 年度チームウェアの開発に伴い、“山形を繋ぐ”をテーマに山形のものづくりを結集した取組み『Montedio Yamagata Official Formalwear』を開始しました。この取組みは、チームウェアを山形の伝統産業を用いて製作し、チームを通して地域のものづくりを発信していくというものです。

今回製作したのは「ジャケット」、「ニットベスト」、「パンツ」です。



「ジャケット」

企画・製作：illbe

生地開発：青文テキスタイル

時代を問わず普遍的なアイテムであるネイビーブレザーを、山形の伝統産業である米沢織を生地に使用して製作しました。

米沢織の“ストレッチ性”という特性を存分に活かし、選手たちの体格や移動中の動きなどを配慮した作りとなっています。

これにより伝統と機能を両立させた、幅広いシーンで利用できるジャケットが完成しました。



「ニットベスト」

企画・製作：米富繊維

別注の強撚ウェーブコットンを度詰めでしっかりと編み立てたオールシーズン着用できる素材を使用しました。

ニット素材のクリーンな印象が特徴で、合わせるアイテムによってビジネス、カジュアルを問わずに着用できるシンプルなデザインです。



「パンツ」

企画・製作：illbe

ウエスト部分にドローコードをつけイージーパンツ仕様にし、さらにストレッチ素材を使用することで、シルエットの美しさを失うことなく快適な着用感を実現しました。

選手側の視点に立ち、パフォーマンスを最大限発揮できるよう考案しました。

CONCEPT

山形を繋ぐ。

チームウェアを通して山形を発信



山形のものづくりを結集した新しいスタイルのオフィシャルフォーマルウェア

トータルディレクションを担当した廣瀬さんは現役引退後に、セカンドキャリアとしてアパレルの世界に身を置くことで山形のものづくりの素晴らしさを改めて知り、その伝統を広く伝えるべく今回の取り組みがスタートしました。各社が手を取りあいチームウェアを MADE IN YAMAGATA のアイテムで揃えることで、選手たちが山形のものづくりや人々の魅力を直接感じることができると同時に、地域とチームがひとつになることを目指します。地域のものづくりを発信することで、モンテディオ山形が地元山形のものづくりを未来に繋いでいきます。

〈企業説明〉

「青文テキスタイル（株）」

山形県米沢市に明治 10 年創業、今年で 146 年目を迎える歴史あるテキスタイルメーカーです。丸編み機と ジャカード織機を持つ特殊な生産形態の中、長年培って きた確かな技術と努力により双方の特徴を融合させ、今回もその技術力でストレッチ性を活かした米沢織のジャケット生地を製作しました。

「米富繊維（株）」

山形県山辺町にて 1952 年に創業したニットメーカー。 自社内にニットテキスタイル開発部門を擁し、OEM / ODM /

自社ブランド COOHEM(コーヘン)、THISISASWEATER. (ディスイズアセーター)、Yonetomi (ヨネトミ) の 3 事業 でオリジナル性の高いニット製品の企画・生産・販売を 手掛けている。今回はインナーのニットベストを製作。

「illbe」

東京を拠点に活動するオーダースーツレーベル illbe(アイルビー)。ディレクターを務める廣瀬智靖さんはモンテディオ山形で 6 年間選手としてプレー。個人向けや企業、スポーツチーム向けのオーダースーツやユニフォームの 企画・ディレクション・販売を行っています。今回は各社と連携を取り、チームウェアのトータルディレクションを担当し、選手に最も近い立場でジャケットとパンツを開発しました。